

2017-18年度R.I.テーマ

ロータリー:変化をもたらす



第2702回 例会  
2017.9.14

会長あいさつ



2017-2018年度 藤村 作 会長

週報 No.2062  
発行 2017年 9月21日  
会長 藤村 作  
幹事 須田 悦正  
副会長 樋口 雅之  
副幹事 宇多村海晃  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 野瀬 将正

皆さんこんにちは、本日も例会出席いただきありがとうございます。本日は天気も良く30度近くになるようですが湿度も高く、台風18号が週末にかけて列島を沿うように進むようです。我が家では週末下の息子の運動会がありどうにかと心配している次第です。

さて、今週一週間の報告です。まず、先週の例会後、名取委員長のもと会員選考委員会が開かれました。新入会員予定者の審査が行われ無事に委員会の了承を頂きました。本日の理事会で問題なければ皆さんに封書で案内を出しますのでよろしくお願い致します。

9月11日の月曜はいよいよ野球部の練習が始まり、尾花会員のバッティングセンターをお借りして打ってまいりました。私は早々に手を負傷してしまい流血騒ぎを起こしてしまいました。本人は大丈夫と思っていたのですが周りの人たちが明日のオベが！等々心配して頂きました。その後今後の野球部の予定を決めさせていただきながら懇親を深め飲んでいましたが、指がズズズキして私は一次会で引き揚げさせて頂きました。今年の野球部の予定としてはまず会費ですが会員は1人一月5000円で来月から徴収することになりました。賛助会員の方からは今年は頂かない予定です。今年度は甲子園には行かない予定だからです。また、10月9日(月・祝)に上尾市民球場で試合をすることとなっています。当初、甲子園の前夜祭で盛り上がった東京調布むらさきRCとの試合を予定していましたが都合が合わず延期となっています。対戦相手は未定ですが混成チームで楽しくやりたいと思います。時間の都合の方は観戦OKです。宜しくお願いします。

9月12日の火曜は須田幹事と樋口副会長と3人で鴻巣RCのメイキャップに行っていました。先週、鴻巣RCの方々が来ていただいたので今度をお返しで行って来ました。場所は駅から少し離れた住宅街にある一軒家でRC専用の家がありました。中に入ると会員10名増強目指そうとの張り紙が大きく貼ってあり10名増えたら上尾は抜かれるな一と思えました。先週のお礼の挨拶とハノイ宜しくと挨拶してまいりました。また鴻巣50周年訪問を約束し上尾55周年宜しくとのお願いもしてまいりました。鴻巣さんは50周年に友好クラブの台湾のクラブを呼ぶそうで40人以上の方が台湾から来られるとのことでした。

行事予定  
9月28日 管理運営部門  
青少年奉仕部門  
セミナー報告  
10月5日 ガバナー公式訪問  
卓話 RID2770  
ガバナー大貫 等 様  
10月14日 移動例会  
藤村病院健康フェア  
ポリオ撲滅キャンペーン  
10月19日 卓話 門崎由幸会員  
祝甲子園優勝  
花咲徳栄高校  
10月26日 卓話  
米山記念奨学生  
鄭 維嘉さん

AGEO ROTARY CLUB

今月はロータリーの友月間です。ロータリアンの3大義務として①会費の納入②例会出席③ロータリーの友購読があります。皆さん読まれていますか?

「ロータリーの友」は「THE ROTARIAN」というRI本部で発行されている公式雑誌で、地域雑誌を合わせた世界32の雑誌が存在し、これらを総称して「ロータリーワールドマガジンプレス」と呼び「ロータリーの友」もこの一つだそうです。1911年に「THE ROTARIAN」が創刊され日本では1953年1月に創刊されています。1952年7月に日本のロータリーが東西2地区に分割されました。地区が分かれてもこれからもコミュニケーションをとっていきましょうとのことで創刊されたそうです。それ以来毎月発行されていて今年が64年になるそうです。名付け親は岐阜RCの遠藤健三氏とのことで、「主婦の友」からヒントを得て付けたそうです。ということで、「ロータリーの友」月間です皆様何時も読まれているとは思いますが、一度熟読されているでしょうか。また、随時投稿も募集していますので我が委員会の活動を投稿してみたいという方がいればぜひよろしくお願い致します。本日は大塚パストの卓話です。先日の青少年部門セミナーでパストが話された基調講演をお聞きしたいと思います。本日も宜しくお願いします。

例会主題～卓話

ポリオについて

パストガバナー 大塚 信郎様

先日私が青少年奉仕部門セミナーで基調講演したのは、ポリオ撲滅がロータリーの最優先課題になっているものの、ポリオについての知識が若い人たちは離れているのではないかなということ、復習するつもりで昔の自分が作ったPPTを手直しして資料にしました。本日はポリオについて、なぜ撲滅が必要なのかを説明したいと思います。



ポリオ(脊髄性小児麻痺)は「急性灰白髄炎」というのが正式名称だそうです。ポリオ・ウィルスが脊髄神経の灰白質という部分をおかして、はじめの数日間は風邪のような症状がみられ、その後急速に足や腕が麻痺します。紀元前1500年の板碑のレリーフにポリオらしい若者の像があり、人類の歴史とともにあったものと想像されます。

ポリオの歴史です。1951年にジョン・エンダースがポリオ・ウィルスを発見。1954年にソーク博士が不活性ワクチンを開発、135万人の大規模試験(治験)。1956年にセービン博士が生ワクチンを開発。1957～60年にソ連で9,000万人がセービン生ワクチンを接種しました。

ポリオについてです。感染経路は感染者の排泄物。宿主は人間のみ。発症は100～200人に1人程度。治療法はなく、感染してしまったら治りません。予防法はワクチン投与。ワクチンの効果は一生效。ワクチン代は60セント(10年前)。ウィルス株はI型、II型(撲滅)、III型があります。

日本の状況として、1959年に不活性ワクチンの製造が開始されました。1960年に北海道でポリオが大流行し、1961年にソ連及びカナダから経口生ワクチンを緊急輸入。1963年、世界で最初の徹底したNID(全国一斉投与)を実施して、後にWHOからポリオ根絶の世界戦略として採用されました。NIDにより患者数が激減(1960年には年6,500人発症だったものが、1963年には100人以下の発症数に)。1981年以降、ポリオの発生はなく、2000年にWHOに対してポリオ根絶を報告して、ポリオを根絶した現在も、すべての新生児に対して予防接種としてワクチンの投与が行われています(母子健康手帳)。

委員長報告

ロータリー財団委員会 久保田 勲委員長

1000ドルの寄付を小林邦彦会員からいただきました。ありがとうございます。引き続き寄付をよろしくお願い致します。



AGEO ROTARY CLUB

ロータリーを中心とするポリオ撲滅運動の歴史ですが、1978年に3Hプログラムが開始され、1979年にフィリピンでNIDが採用され600万人を対象にワクチン投与をして成功を取めました。1985年、RIがポリオ・プラスを開始し、1億2,000万米ドルの寄付を誓約。1988年、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、米国疾病予防センター(CDC)が参加してポリオ撲滅運動が展開されています。1994年は西半球が、2000年には西太平洋地域が、2002年にはヨーロッパ地域が、無発症地域として宣言されています。2004年、西アフリカと中央アフリカの23カ国において8,000万人の子供を対象とした一斉全国予防接種日が行われ、2006年に歴史上、ポリオ常在国の数が最少を記録されました(4カ国=インド、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア。インドは今ではなくなっている)。

ポリオの現状です。アフガニスタンでは、2014年28、2015年20、2016年13でした。パキстанは2016年20。ナイジェリアは2016年4でした。以前は全世界で1日1000人、年間35万人が発症していたのが、現在では全世界で37件にまでなっているわけです。

「ここまでやったのだからもういいのでは」ではないのです。ポリオを撲滅するには、その地域での発症が0になって、それが3年間続くことに意義があります。全世界で0になって、それが3年続くこととポリオが根絶したことになります。そうすると全世界の子供たちにワクチン投与をする必要がなくなります。その経済効果がすごいんです。世界で50人足らずにはなりませんが、ポリオが発症したら全治療方法は無いので、この50件を根絶しないと、全世界でワクチン投与を続けるというわけじゃないです。

ポリオを地球上からなくす5つの理由。ポリオを撲滅するには、野生型ウィルスによるポリオ発症が起きている3カ国(アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン)でウィルス感染を断ち切る必要があります。また、既にポリオフリーとなった国にウィルスが流入しないようにしなければなりません。ウィルス流入のリスクが高い国々(最高60カ国)では、現在も子供への大規模な一斉予防接種キャンペーンが行われています。「私たちに、予防が可能なの病気が地球上のすべての子供を守る手段が与えられています」

(1)犠牲となる子供をなくす=ウィルスを撲滅せず、感染を抑止するだけでは、今後10年以内に発症者数が20万人に跳ね上がると予想されます。

(2)撲滅は可能=ポリオ撲滅の手段、そしてすべての子供に予防接種を行うための手段が、私たちに備わ



歴史をつくるカウントダウン

っています。ポリオ撲滅活動の知られざる側面=予防接種だけでは疾病は撲滅できません。そのほかにも数多くの努力が必要とされます。

(3)未来への投資=「ポリオのない世界」への世界的投資により、今後20年間に400～500億ドルの経済的恩恵がもたらされると専門家は見えています。

(4)システムの強化=ポリオ撲滅の取り組みによって、感染症を徹底して監視するためのネットワークが世界各地に築かれました。これにより、今後も世界中の地域社会を守っていくことができます。

(5)公共保健活動のモデルとなる=世界中すべての子供への予防接種が可能であることが実証されれば、今後の世界的な公共保健活動の可能性をさらに広げることができます。



大塚パストガバナー、卓話いただきありがとうございました!

出席率

出席	会員数	36	出席数	20
欠席	欠席数	16	(%)	55.56
前々回確定修正(%)		88.89	欠席数(M・U)	4 / 6



スマイル

藤村会長 大塚パスト、卓話ありがとうございました。  
樋口副会長 大塚パストG、卓話ありがとうございます!  
宇多村副幹事 卓話、ありがとうございます。  
大塚信郎会員 本日の卓話、よろしくお願い致します。  
芳賀会員 本日の野球部の練習、お疲れ様でした。卓話、ありがとうございました。

岡野会員/小林邦彦会員/井上会員/村岡会員/深澤会員/関口会員/野瀬会員/長沼会員/齋藤修弘会員/門崎会員/春日会員

久保田勲直前会長を慰労する会が開催されました。

2017.9.19 於:恵比寿亭 久保田直前会長、一年間たいへんお疲れ様でした!

